

行橋みやこロータリークラブ

Rotary



週報 Weekly Report No.13

ロータリー特別月間

10月

地域社会の

経済発展月間

ガバナー

月信

年間

例会

会員用

リンク



2025~2026 年度

国際ロータリーテーマ

よいことのために手を取りあおう

少しの成長から始まります

1.01 で成長、0.99 で衰退

国際ロータリー第 2700 地区ガバナー

濱野良彦

ベクトルを合わせ最善を尽くそう

行橋みやこロータリークラブ会長

藤原妃呂

本日のプログラム

出席報告

10月のお誕生日

本日のロータリーソング

『我らの生業』

本日のプログラム

広報公共イメージ委員会（内部卓話）

社会奉仕委員会（献血）

10月 8 日

会員数 50

欠席者 22

出席率 56%

浅倉隆浩（3日）・田渕哲朗（16日）

大鶴修二郎（19日）金澤隆（21日）

11月 5 日 米山記念奨学委員会（外部卓話）／11月 12 日 ロータリー財団委員会（外部卓話）

11月 19 日 青少年奉仕委員会（優良青少年表彰）／12月 3 日 年次総会



会長の時間

今年の 3 月に PETS 研修に参加したときに、濱野ガバナーより「1.01 で成長、0.99 で衰退」というメッセージをいただきました。また吉田パストガバナー（現戦略計画委員長）より 3 カ年計画をたてる事の重要性も伺いました。

そこで長期計画委員会と奉仕活動をもう一度見直し、行橋みやこロータリークラブの 3 カ年計画（3-YEAR ROLLING GOALS）に

- ①京築地区に交流や情報発信基地を設けるために「けいちくトイロ」さんへの支援
 - ②築城特別支援学校の障害を持つ児童たちへの支援
 - ③育徳館吹奏楽部への援助
 - ④カンボジア協力団体 JAC と連携してタイ・カンボジア紛争による難民支援
 - ⑤オープンロータリーの充実
- の 5 つを掲げました。

そして今回はいいご報告があります。

「けいちくトイロ」さんの情報発信拠点として、二十二 R が住職をされている「真念寺」さんが場所を無償提供してくださるとの事です。

実は二十二 R は昔、お子さんが不登校になった経験があったとの事で、新しい学校を探すための情報収集にご苦労されたようでしたので、快諾していただけました。とても感謝しております。

今後は、行橋みやこロータリーで何がお手伝いできるかと一緒に考えていきたいと思っています。また真念寺さんは、もともと苅田を拠点としていたのですが、昭和 41 年に行橋市行事に移る際に「山門」を豊津高校（現育徳館の黒門）に贈与されたお寺との事で、その点でもご縁を感じました。

- 3-YEAR：短期ではなく「続ける」覚悟
- ROLLING：現状にとどまらず、柔軟に転がり続ける姿勢
- GOALS：数値目標だけでなく、“心の到達点”を含むもの

幹事報告

● 来週 15

日は社会奉
仕献血とな

っておりまます。皆様、忘れないよう
にご協力をお願ひいたします。



● 創立 … 1984 年 4 月 3 日

● 例会日 … 水曜日 (12:30~13:30)

● 例会場 … みやこホテル 行橋市宮市町 9-18 ☎0930-23-1800

● 事務局 … 行橋商工会議所別館 1 階 行橋市中央 1-9-50 ☎0930-25-0655

FAX: 0930-25-5700 Email: info@ym-rotary.club URL: <https://ym-rotary.club>

● 会長 ……………… 藤原妃呂

● 副会長 ……………… 山田千恵

● 幹事 ……………… 原田和博

● 会報雑誌委員長 ……………… 二十二 豊

●ガバナー・ガバナー補佐・地区副幹事よりニコニコ献金を頂いております。

RI 第 2700 地区 濱野良彦一ガバナー公式訪問 行橋 RC・行橋みやこ RC

濱野良彦一ガバナー：自己紹介をいたします。福岡に在住しておりますが、遠賀郡水巻町吉田という田舎で生まれました。中学校は折尾中学校。高校はかの有名な高倉健の東筑高校でございます。大学はそこそこの大学に行って、それなりに歯医者になりました、今があるわけです。

生まれたのは 1947 年、昭和 22 年生まれです。78 歳になりますから、ジジイでございます。それがこうやって大きな声を張り上げて、マイクを使わずに話す、その気持ちを察して話を聞いていただきたい。

まず「よいことのために手をとりあおう」という RI 会長のメッセージ、前年度まではメッセージではなく RI 会長のテーマでした。そのテーマをなぜ廃止したかというと、あまりにもこの 120 年間、ロータリーは個人の意見でずっと引っ張られてきたと。毎年毎年いろんなものが変わっていくことについて、ちょうど 2000 年、ミレニアムの頃から、どうもおかしいぞっていう考えが出てきたんです。

ですから、2000 年から 25 年かかって、制度をちょっとずつ変えてきました。それが、単年度制から複数年度制に変わるという、3-Year Rolling Goals です。3 年間でいろいろ考えましょうと。

「よいことのために手をとりあおう」という RI 会長のメッセージは、どうやって作られたか。今まで、会長になる人が個人的な意見で決めていたんです。今はそれでは決められなくなりました。

私は国際協議会というのに出ろと言われました。国際協議会はアメリカに行くわけですね。アメリカに派遣してもらえるんだと思ってもお金は出ません。自分の金で行くんです。ホテルに入って、缶詰で洗脳され



ます。次から次に情報を入れられて、考え方を定着させられるんです。

お昼休みに、大きなテーブルのちょうど目の前に、めちゃくちゃハンサムな男が座ったんです。これがアメリカの RI 理事だったんです。こりゃいいやと思って、「よいことのために手をとりあおう」これ誰が作ったの？って聞いたんですよ。彼は教えてくれました。

これは、5 年前から RI の理事会の中に特別委員会ができて、それは 3 人で構成され、2025 年度からの RI メッセージをこの 3 人が考えたそうなんです。合議制で決まった言葉を RI 会長エレクトが「わかりました」と OK を出すと。

みんなの合議制で事が進むというのがロータリーの考え方。これはもう当たり前だと思います。ただし、単年度制で 120 年間やってきた良いところは残しようと。例えば、4 つのテスト。これを RI は「もうやめた」と言ってもいいんですよ本当は。でもそうではない。ちゃんといいものは残っています。

会員増強が最優先の最大の課題であると、デ・カマルゴ氏が言いました。彼は RI 会長エレクトのとき、ある日突然辞任をしました。びっくりしましたね。彼はとてもいいこと言いました。会員が最も価値のある財産だと。120 万人のロータリー会員は、その地域地域でのいろんなトップの集まりで、なおかつ積極的にボランティアをやっている、素晴らしい集まりなんだと。それが財産なんだと彼は言っています。

そのあと続けて、素晴らしい会を持ちながら、なぜ会員数が減るんですかと。その財産を持ちながら会員数が減るのは、あなた方の努力が足りないからだと僕に突きつけます。そう言われた時に、ああ確かに、やっぱり努力をしてなかったから会員数が減ってるんだということを、実感として感じました。これがね、洗脳なんです。上手に褒めでは落とし、褒めでは落とし、洗脳していくんです。でも、僕はその洗脳が自分の足元を見るとても良いチャンスだったと思ってます。

僕は 2700 地区のクラブの会長さんには「メッセージ」を出す必要はない、クラブ会長は「テーマ」を出して思い切り自分の主張をしてほしいと思っています。地区ガバナーは「メッセージ」でいいんです。でも会長は信念を持って、1 年間これをやり通すんだという、その「テーマ」を持っていただきたいと思っています。皆さんの内容を見ていると、見事に RI を無視したテーマです。僕は大歓迎をします。ちゃんと足元を見て、クラブのことを考えていらっしゃる。それを実感します。

もう 1 つ、彼がいいこと言います。これが僕のこの心にすきりと突き刺さったんですけども「クラブは成長するか、衰退するかのどちらかである。中間はないんだよ」と。したがって、何もアクションを起こしていないクラブは、衰退するしかないんです。「成長するか衰退するか、あなた方はどちらを選びますか?」って言うんですよ。それを言われた僕らは全員「はい、衰退します」なんて言うわけないじゃないですか。「はい。成長するしかない。成長しますよ」っていう。そうやってとても上手に僕らの意識を高めてくれて、考えさせる時間もくれました。

あなたのWILLは何ですか？

0.01のWILL

2025年度 ガバナーメッセージ

少しの成長から始まります
— 1.01で成長、0.99で衰退 —

福岡ロータリー第2700地区  Rotary

私のメッセージは「少しの成長から始まります」です。この言葉だけでは、ご理解いただけないと思います。それで「1.01 で成長、0.99 で衰退」をサブメッセージとして出しました。ロータリー活動を普通にしている場合を 1 とし、そこに 1/100 の努力をすれば、1 プラス 0.01 で 1.01。ところが 1/100 の努力をせずにサボるとね、1 マイナス 0.01 で 0.99 です。

これは、楽天の三木谷社長が執筆された本の中から引っ張ってきました。この 1.01 と 0.99 を 1 年間 365 日比較してみると、数学的に言うと 37 倍の差が出てくるんだという風に彼は言っているわけです。僕はその 37 倍というのを信用してません。でも明らかに 1/100 の努力が何かを生むんだろう、何かをきっと変えてくれるだろうと、その可能性を僕はここに託しました。

あなたはクラブの財産だという認識をお持ちですか？なかなかね、ご自分で自分は財産だと思ってる人はいないんですよ。両クラブの平均値は 55 歳と 57.7 歳でしたかね。それを真ん中にします。この私は 78 歳ですから、平均値よりも年齢が高い、年寄り部隊です。僕らは、どちらかというと、例会に出て飯食って帰るだけと言われてもいたしかたない。ところが、平均値より左側の人たちは、ちょっと任せれば、さっさと動くんですよ。頑張ってくれるんですよ。

僕が言いたいのは、そうやって動いてくれる人も財産なんんですけども、飯食って帰るだけのロータリアン

も財産なんだという認識を僕らは持ちましょう、ということなんです。よく考えてください。飯食って帰るだけの会員と、一生懸命働く会員は、会費は同じです。だから、一生懸命働く人たちは、飯食って帰るだけのダメなロータリアンのような言い方をするのは、ちょっと待ってくださいと僕は言いたい。僕らのキャリアをね、見捨てちゃダメよとね。

会員力の強靭化

対応策として その1

クラブ会員間での意識の違いと役割を認識する

- ・ロータリー活動を実践する

- 国際・社会・青少年活動に積極的に参加し社会貢献する。

- ・ロータリー活動への資金援助

- ロータリー活動には参加しないが、資金援助する。

- ・クラブに在籍する支援

- クラブ組織力を強化維持し、間接的にロータリー活動を支援する。

影の力
(クラブの財産)

福岡ロータリー第2700地区



もう 1 つ言いたいことは、僕は会員には 3 つあると推測します。やっぱりよく動いてくれる人。2 番目は、あまり何もしないんだけど、ニコニコや米山奨学金、財団によくお金を出してくれる人。1 番下のそういうこともしない人。飯を食って帰るだけですよ。この人たちは、ついおかしという風に見られると思うけど、1 つもおかしいと思ってません。当たり前だと思ってます。なぜかというと、若い時は今の若い人たちよりももっと働きましたよ、ロータリーのために。クラブに在籍するだけの支援。在籍するということが支援になるということをぜひとも、明確にみんなが認識し合うことが僕は大切ではないかと思います。それが影の力なんですね。

私たちの福岡東南ロータリークラブは、ある時期には奉仕活動は 2 つしかやってませんでした。ここ行橋地区のクラブはものすごいですよ。外国に行っていろんなことをやられたり、いろんなことに参加されている。福岡東南ロータリーはどちらかというと、年寄りクラブで、若いのに混じってね、例会で飯食って帰るのばっかり。ところが、あることを行ったことで、4 年後にはその 2 つの奉仕活動が 12~14 に増えました。

週報の下に 2 つだけのメッセージを載せました。1 つはクラブの合言葉「ウォッチワード」。これは「ずっと先まで、お役に立ちたい」という合言葉なんです。何かに似てるなとお分かりかと思います。九州電力の松尾新吾 R がこれを使えと言わされた。「ずっと先まで明るくしたい」という九電グループのキャッチコピーなんです。じゃあ、何を何に対するお役に立ちたいか、というのを長期計画委員会に考えもらいました。そ

の時に出てきたメッセージが「奉仕活動のトップランナーになります」という。これね、後々面白いのが、穴井パストガバナーが、このことについてものすごいある意味批判をしながらも、とても褒めてくれます。週報の下に書いあるこの2行の文字、いつもみんなが見ている交通安全の標語と同じですよ。毎週毎週あれを見ると、なんかやっぱりやらなきゃいけないという風になるんですね。

まとめに入ります。ロータリーのバッジを皆さんつけてらっしゃると思うんですけども、例えば小倉の街、行橋の飲み屋街で、このバッジをつけて歩いた時に「エンド・ポリオ・ナウ」という、こういう事業をやってるおっさん、あるいはおばちゃんだったという認識を一般市民が持ってくれるんでしょうか？おそらくないと思うんです。日常的にこのロータリーの公認バッジを見て、「ああ、ポリオの大変な仕事をやってる」とは思いません。これは、僕は損だと思ってます。ですから、これをなんと変えていきたい。

エンド・ポリオは本当に0にできるかというと、僕は正直言って難しいなと思っています。なぜかというと、ポリオが残るのは戦争が起こってるところ2か所です。この戦争が終わらない限り、僕はポリオは0にならないんじゃないだろうかという風に考えてます。

デ・カマルゴ氏が言いました。ロータリアンは、理想主義者の集まりだと。自分の事業を築き上げ、理想を掲げながら、従業員や自分も鼓舞してきた方々です。ですから、僕はエンド・ポリオの最終調整というのは、平和というこの理想をいつまでも掲げておきましょう、と言いたいんです。決して忘れちゃいけません。エンド・ポリオは平和じゃないと難しいんだから、平和であろうということを言い続けましょう。これが僕らの役割です。

そういうことを今世界で、ロータリー平和フェローがやってるんですね。ロータリー平和フェローは世界で約7百数10名、ロータリアンのお金で平和活動をするために育てられた若者で、国連やNGO、あるいは戦地にも入って働いてます。彼らは僕らのお金で教育を受けた人です。去年までは1人頭15円、自動的に全世界で、日本の円で言うと15円集められて、それが教育費に充てられていました。今年から30円になります。倍額になります。これを僕らはやはり知っておく必要があると思っています。このバッジをつけることは同時に、ロータリー平和フェローを育てているという、要するに、平和の使者を僕らは育てているという、この認識をぜひとも持っていただきたいと思います。

雑駁な話をしまいましたが、78歳の老人もまだやることはたくさんあると思ってます。そのやれることの1/100をちょっとずつちょっとずつ積み重ねていきましょう。どうもありがとうございました。

ニコニコ BOX

安永結美R：濱野ガバナー公式訪問ありがとうございました。会長・幹事お疲れ様でした。ハーキンチヨーした★

秋山高広R：ガバナー公式訪問お疲れ様でした。

有門信芳R：ニコニコします。

金澤 隆R：ガバナー公式訪問大変お疲れ様でした。

上野優二R：ニコニコします。

工藤茂美R：ニコニコ致します。ガバナー公式訪問お疲れ様でした。

二十二豊R：濱野ガバナー公式訪問ありがとうございました。

田中聰樹R：会員になって初めて感動するガバナーの公演話を聞けた！

西村 勝R：濱野ガバナー公式訪問における卓話ありがとうございました。お疲れ様でした。

大鶴修二郎R：公式訪問お疲れ様でした。

末松ガバナー補佐本日はありがとうございました。

緒方正憲R：濱野ガバナー本日はありがとうございました。

村上哲二R：濱野ガバナーありがとうございました。

廣瀬大輔R：濱野ガバナー公式訪問ありがとうございました。

渡邊豊文R：濱野ガバナー本日は誠にありがとうございました。

ニコニコ会：10/5 ゴルフコンペ残金ニコニコします。

濱野良彦ガバナー・末松ガバナー補佐・石川哲也地区副幹事よりニコニコ頂きました。

ニコニコ BOX
10月8日の合計 30,500円
累計 252,500円



ロータリークラブ presents
「ピース・オン！DAYTIME」
TUE 12:30-12:45



- 週報の原稿はこのQRコードからメールで送信してください。
- 会員の事業を紙面で紹介！事業内容・アピール文・写真を送付してください。